

KANEFUSA

2023年3月期決算

兼房株式会社

ホームページ	URL http://www.kanefusa.co.jp
お問い合わせ先	経営管理室長 服部 政信
電話番号	0587-95-2821

目次

1

会社の概要

2

2023年3月期の決算概要

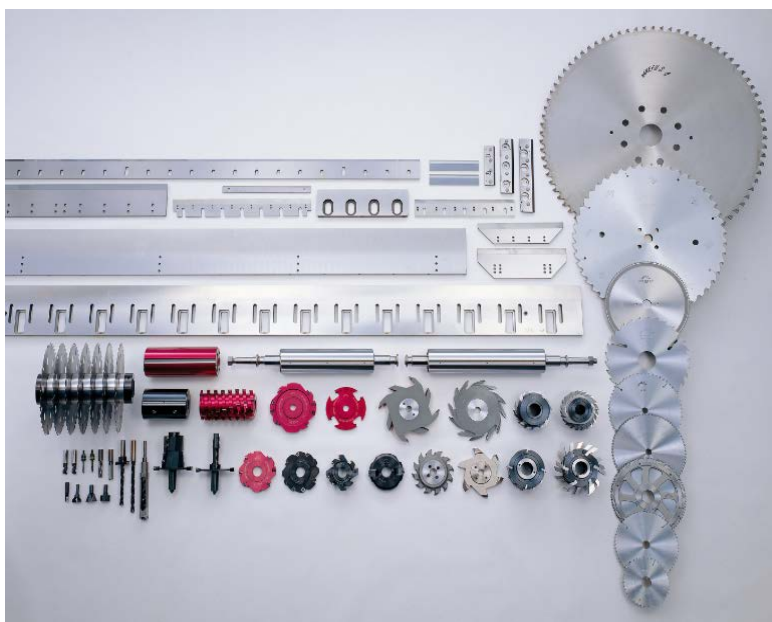
① 会社の概要

① 会社概要

兼房株式会社

東証スタンダード市場 上場 5984
名証メイン市場

工業用機械刃物
総合メーカー



設立	1948年11月 《創業1896年（明治29年）》		
所在地	愛知県丹羽郡大口町		
資本金	21億4,250万円		
従業員数		単独	連結子会社
	正社員	623名	625名
	パート	106名	137名
	合計	729名	762名
事業所	本社・工場 国内8販売拠点		
子会社	10社 うち海外子会社9社		

① 会社概要—沿革

1896年	名古屋・五平蔵町(現名古屋市西区)にて鍛冶業を創業
1937年	名古屋市熱田区に兼房刃物有限会社設立
1947年	東京出張所を開設
1948年	兼房刃物工業株式会社に改組
1949年	大阪出張所を開設
1959年	日本の機械刃物メーカーで初めて高周波熱処理装置を完成
1964年	大口工場第一期工事完成
1968年	兼房刃物販売株式会社を設立
1972年	大口工場にチップソー工場建設
1982年	大口工場にコールドソー工場建設
1985年	本社機構を大口工場に移管
1986年	ダイヤモンド刃物、カッターブロックの高精度製品の専門工場を建設
1990年	工業、販売を合併。社名を兼房株式会社に変更
1995年	名古屋証券取引所第二部(現メイン市場)へ上場
1996年	テクニカルセンターを新設
1999年	ISO9001認証取得
2003年	ISO14001認証取得
2006年	東京証券取引所第二部(現スタンダード市場)へ上場
2008年	名古屋支社を名古屋市熱田区内で新築移転、中部支社へ改称
2009年	東京支社と前橋出張所を統合し、さいたま市へ新築移転、関東支社へ改称
2012年	徳島出張所を香川県高松市に移転、高松営業所へ改称
2015年	大口工場に第3精密工場建設

海外進出の沿革	
1986年	インドネシアに「PT.カネフサインドネシア」設立
1996年	PT.カネフサインドネシア新工場建設
1999年	アメリカに販売子会社「カネフサUSA,INC.」設立
2001年	オランダに販売子会社「カネフサヨーロッパB.V.」設立
2002年	中国に生産子会社「昆山兼房高科技刀具有限公司」設立
2009年	インドに販売子会社「カネフサインディアPvt.Ltd.」設立
2010年	ブラジルに販売子会社「カネフサドブラジルLTDA.」設立
2012年	中国に「天津分公司」設立 カネフサUSA,INC新社屋設立、移転
2013年	中国に「佛山分公司」設立 メキシコに販売子会社「カネフサメキシコS.A. DE C.V.」設立
2015年	PT.カネフサインドネシア第2工場建設 ロシアに「モスクワオフィス」設立
2016年	ベトナムに販売子会社「カネフサベトナムCo.,LTD.」設立
2018年	ベトナムに生産子会社「カネフサベトナム マニュファクチャリングCo.,LTD.」設立

① 会社概要ーグローバルネットワーク

KANEFUSA GLOBAL NETWORK

世界8か国13の地域に進出



① 会社概要—事業内容・主要ユーザー—

事業内容

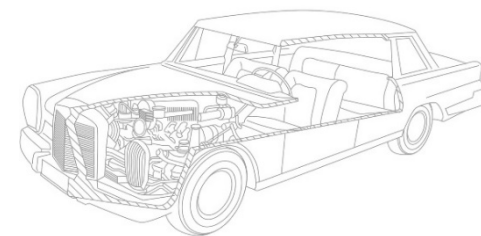
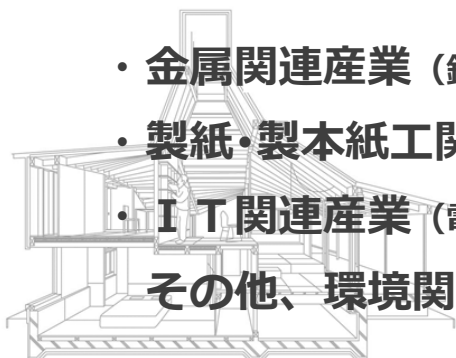
工業用機械刃物の製造・販売

工業用機械刃物は、木材・紙・金属等を切断・加工する機械に装着して使用される
〈消耗工具〉に該当します。

主要ユーザー

- ・住宅関連産業（ハウス、合板、建材、プレカット、外壁材、
電動工具、キッチン、家具等の各メーカー）
- ・金属関連産業（鉄鋼、非鉄、自動車・部品等の各メーカー）
- ・製紙・製本紙工関連産業（製紙等の各メーカー、印刷・製本会社）
- ・IT関連産業（電子部品等の各メーカー）

その他、環境関連、包装機械、合成樹脂加工会社など多業種にわたる。



① 会社概要—主要製品

平刃類

形状が平らになっているもので、合板用刃物、電動工具の電気鉋刃、製本紙工用刃物、IT関連刃物等があります。



住宅関連産業向け
ベニヤナイフ



印刷・製本関連向け
断裁包丁

精密刃具類

溝つき・繋ぎ合わせ・穴あけ加工・成型等をする工具で、カッター・エンドミル・リーマなどと呼ばれます。被削材には木質系、窯業系建材、樹脂、非鉄金属等があります。



金属関連産業向け
フェースミル



住宅関連産業向け
仕口カッター

丸鋸類

円板状で外周部に刃がついており、切断・粉碎をする工具。被削材には木質系等を切断するチップソーや、各種金属を切断するコールドソーがあります。



金属関連産業向け
コールドソー



住宅関連産業向け
チップソー

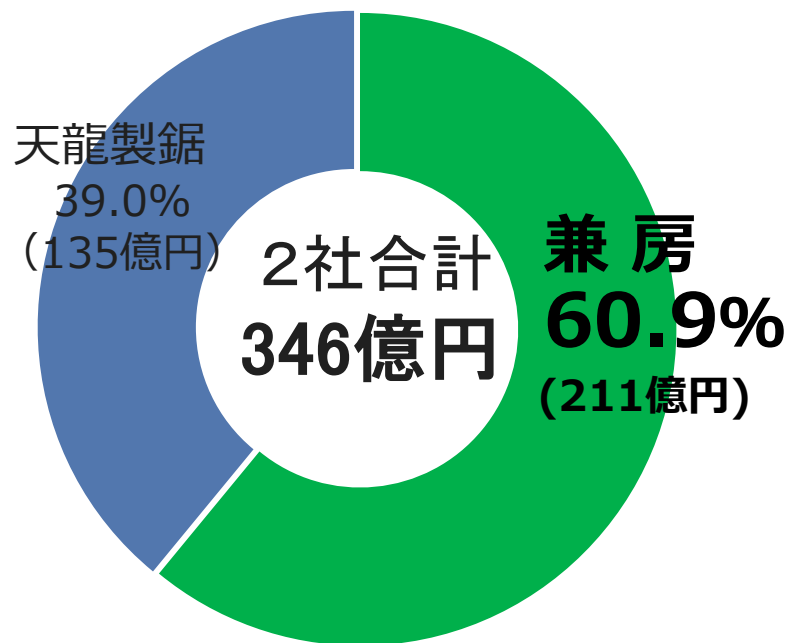
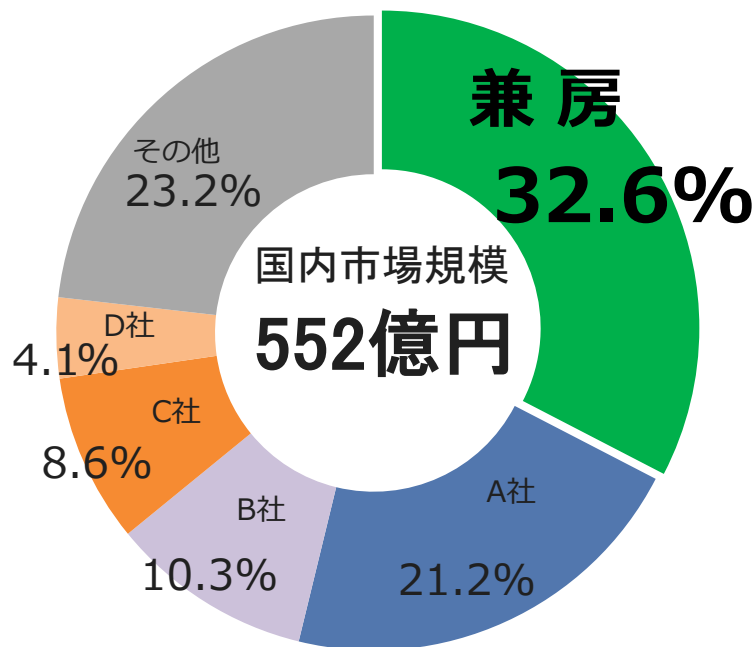
ユーザーニーズに合わせ、製品数は300種3万点

① 会社概要—マーケット規模と当社シェア①

1. 日本機械鋸・刃物工業会（22社）
 単独売上高ベースでのシェア（2021年度）
 （加盟企業のための集計で単独売上高にて比較）

2. 業界株式公開会社2社の
 連結売上高ベースでのシェア（2022年度）

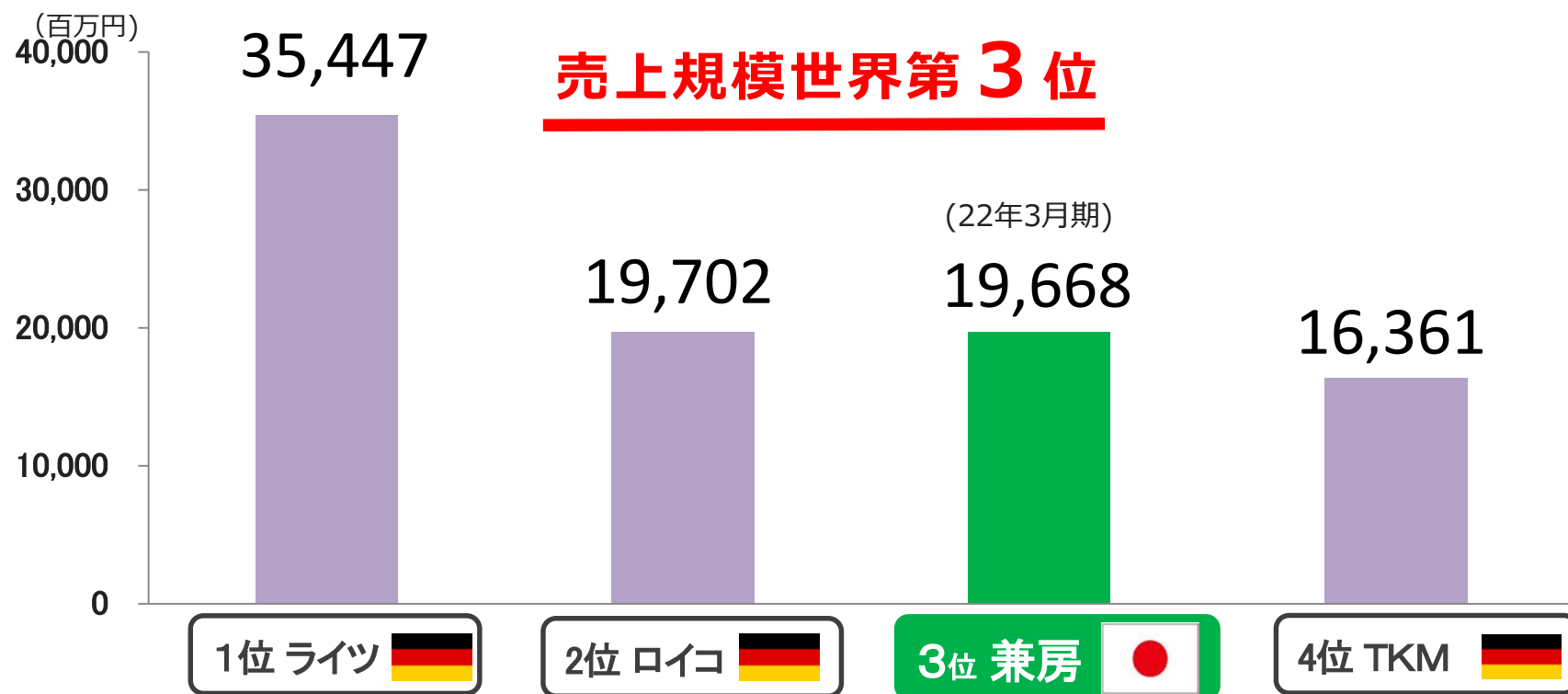
国内シェアNo. 1



① 会社概要ーマーケット規模と当社シェア②

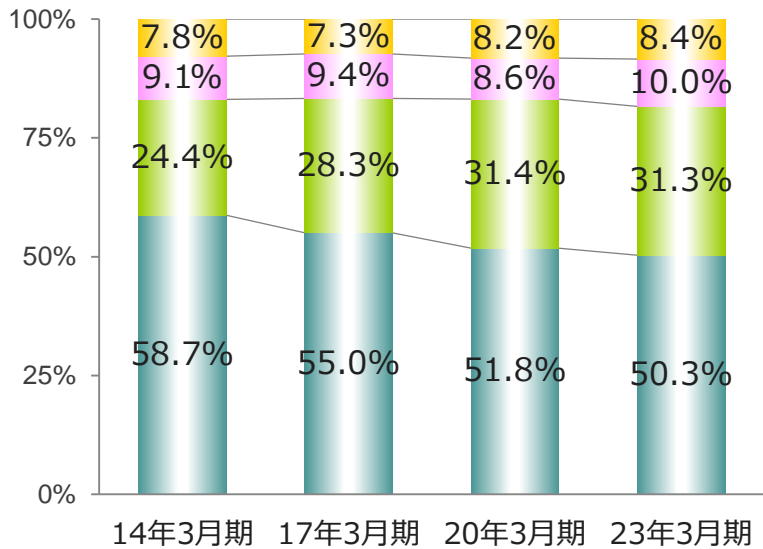
世界におけるポジション（世界トップ4社）

※ 2021年度売上高ベース



① 会社概要 一売上高構成比

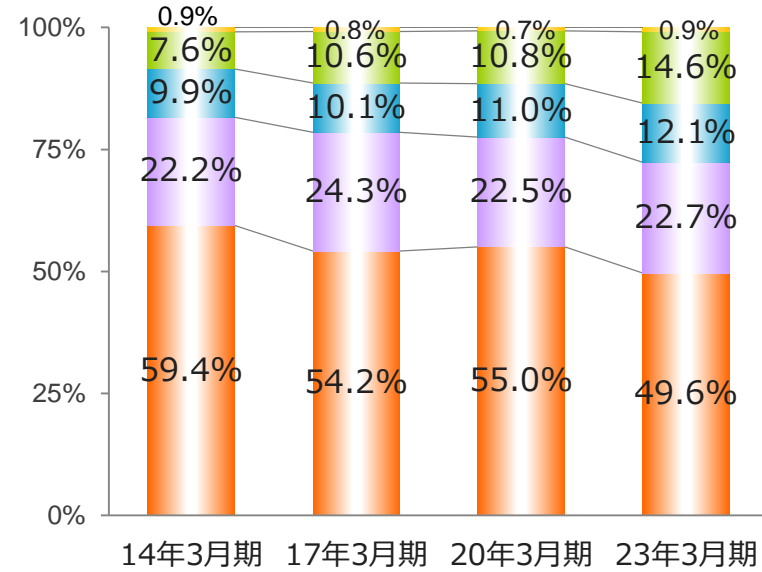
業種別



■ 住宅関連 ■ 金属関連 ■ 製紙・製本紙工関連 ■ その他

- ・住宅関連
ハウス、建材、サッシ、キッチン、家具、合板、電動工具メーカー等
- ・金属関連
鉄鋼、非鉄自動車関連産業等
- ・製紙・製本紙工関連
製紙メーカー、印刷・製本産業
- ・その他
化成品、IT、環境関連産業、包装機械メーカー等

地域別



■ 国内 ■ アジア ■ ヨーロッパ ■ アメリカ ■ その他

- ・アジア
インドネシア、中国、韓国、インド、タイ等
- ・ヨーロッパ
ドイツ、スウェーデン、ロシア等
- ・アメリカ
米国、チリ、メキシコ、ブラジル、カナダ等
- ・その他
ニュージーランド、オーストラリア等

<過去> 国内の住宅関連売上に依存

→ <現在> 一つの業種、地域に偏らない売上高構成を目指す

② 2023年3月期の決算概要

② 決算概要—損益計算書

単位：百万円

	22年3月期 実績	23年3月期 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	19,668	21,119	1,450	7.4%
売上原価	13,355	14,714	[1] 1,359	10.2%
(売上高比率)	(67.9%)	(69.7%)		
売上総利益	6,313	6,404	91	1.4%
(売上高比率)	(32.1%)	(30.3%)		
販管費	4,537	4,963	426	9.4%
営業利益	1,775	1,440	▲334	▲18.9%
(売上高比率)	(9.0%)	(6.8%)		
営業外収益	184	264	[2] 79	43.3%
営業外費用	25	42	16	63.1%
経常利益	1,934	1,663	▲271	▲14.0%
(売上高比率)	(9.8%)	(7.9%)		
特別利益	2	290	[3] 288	12968.3%
特別損失	34	13	▲21	▲61.3%
税金等調整前 当期純利益	1,902	1,940	38	2.0%
当期純利益	1,346	1,276	▲69	▲5.2%
(売上高比率)	(6.8%)	(6.0%)		

国内・海外とも売上は増加したが、資材価格高騰等の影響から

前期比 増収減益

<前期比増減額の主な内訳>

[1] 売上原価
原価率 67.9%→69.7%

[2] 営業外収益
為替差益 +44

[3] 特別利益
固定資産売却益 +214
投資有価証券売却益 +73

当連結会計年度(23年3月期)より、連結子会社PT. カネフサイドネシアの退職給付債務の認識方法を変更し、前連結会計年度(22年3月期)にも遡及適用したため、22年3月期連結損益計算書の実績値は、遡及前と比較して、営業利益は9,339千円、経常利益および税金等調整前当期純利益は12,739千円、それぞれ増加しております。

② 決算概要—貸借対照表

単位：百万円

単位：百万円

		22年3月期 実績	23年3月期 実績	増減額			22年3月期 実績	23年3月期 実績	増減額
流動資産	現金及び預金	7,164	6,835	▲328	流動負債	支払手形及び買掛金	2,069	1,913	▲156
	受取手形及び売掛金	4,775	4,650	▲125		未払金	809	1,233	[4] 424
	たな卸資産	5,464	6,689	1,225 [1]		その他	1,280	1,466	[5] 186
	その他	832	617	▲214 [2]		小計	4,159	4,613	453
	小計	18,237	18,793	556		退職給付に係る負債	240	132	▲108
固定資産の部	有形固定資産	11,655	13,402	1,747 [3]	純負債資産の部	その他	1,671	1,721	50
	無形固定資産	797	861	63		小計	1,912	1,853	▲58
	投資その他の資産	923	809	▲114		資本金	2,142	2,142	—
	小計	13,376	15,072	1,696		資本剰余金	2,167	2,167	—
	資産の部計	31,613	33,865	2,252		利益剰余金他	20,452	21,325	873
					純資産の部	評価・換算差額等	779	1,762	[6] 983
						小計	25,542	27,399	1,856
						負債・純資産の部計	31,613	33,865	2,252

<増減額の主な内訳>

[1] たな卸資産	
商品及び製品	+498
原材料及び貯蔵品	+677
[2] 流動資産その他	
仮払金	▲444
※22/3期連結調整で仮払金が増加(23/3期では減少) ⇒親子ローン実施による子会社での現金増加など	
[3] 有形固定資産	
建物及び構築物	+525
機械装置及び運搬具	+249
土地	+175
建設仮勘定	+731
[4] 未払金	
未払金	+243
固定資産購入未払い金	+180
[5] 流動負債その他	
未払法人税等	▲222
仮受金	362
※23/3期連結調整で仮受金が増加 ⇒売上低迷による子会社での現金減少等	
[6] 評価・換算差額等	
為替換算調整勘定	+1,059

前頁「損益計算書」下段に記載のPT. カネフサインドネシアの会計方針の変更により、22年3月期連結貸借対照表の実績値も遡及適用による修正を行い、遡及前と比較して、退職給付に係る債務は86,395千円、繰延税金資産は22,799千円それぞれ減少するとともに、利益剰余金は64,246千円、為替換算調整勘定は5,116千円それぞれ増加し、退職給付に係る調整額は5,766千円減少しております。また、22年3月期の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の期首残高は50,315千円増加しております。

② 決算概要ーキャッシュ・フロー、設備投資額、減価償却費等

単位：百万円

	22年3月期	23年3月期
	実績	実績
営業活動による キャッシュ・フロー	1,906	2,223
投資活動による キャッシュ・フロー	▲764	▲2,281
財務活動による キャッシュ・フロー	881	▲500
現金及び現金同等物 期末残高	7,164	6,835

単位：百万円

	21年3月期		22年3月期		23年3月期	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	453	343	865	676	2,916	1,521
減価償却費	1,707	1,140	1,629	1,044	1,644	1,011
研究開発費	283	283	272	272	259	259

<投資活動によるキャッシュ・フロー 主な内訳>

	22年3月期	23年3月期
有形固定資産取得支出	▲734	▲2,669
有形固定資産売却収入	+16	+305
投資有価証券売却収入	-	+110

<財務活動によるキャッシュ・フロー 主な内訳>

	22年3月期	23年3月期
長期借入れ収入	+1,106	-



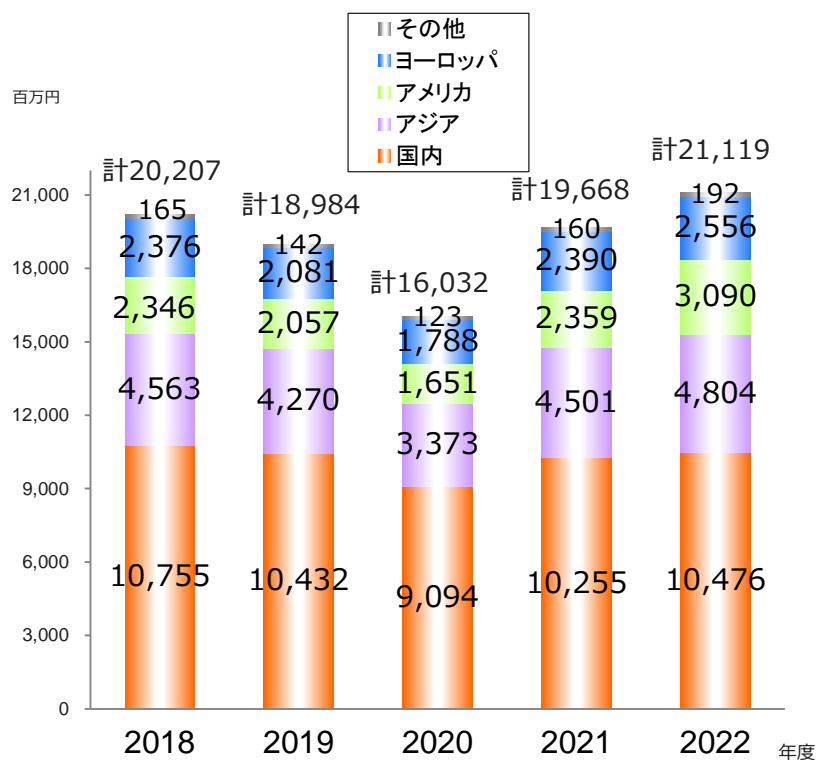
KANEFUSA CORPORATION

ありがとうございました。

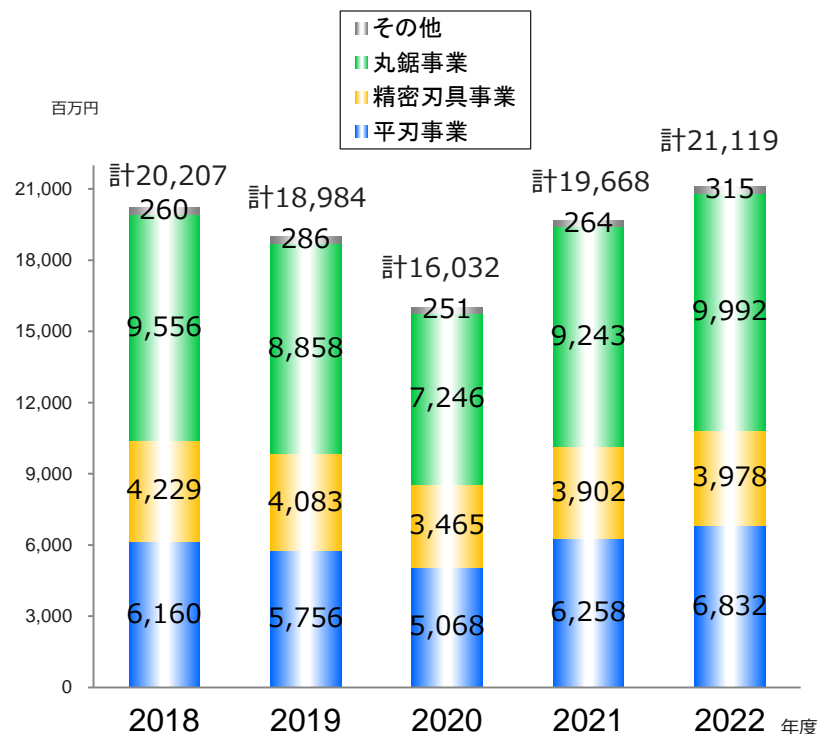
当資料には、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しており、不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

【ご参考】連結5カ年推移

地域別売上高

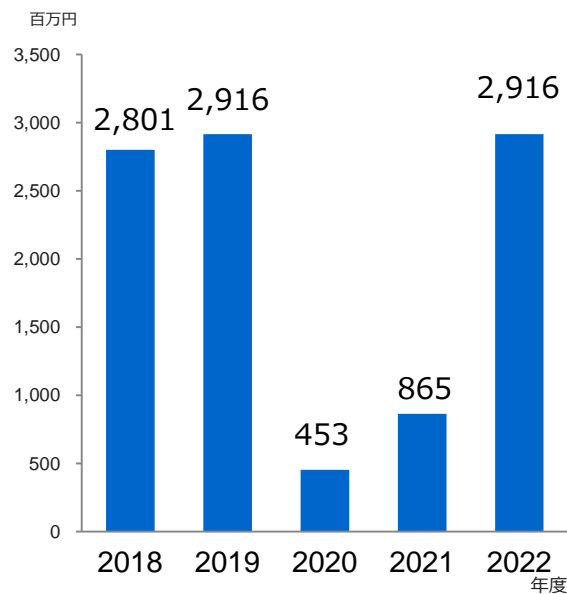


事業別売上高

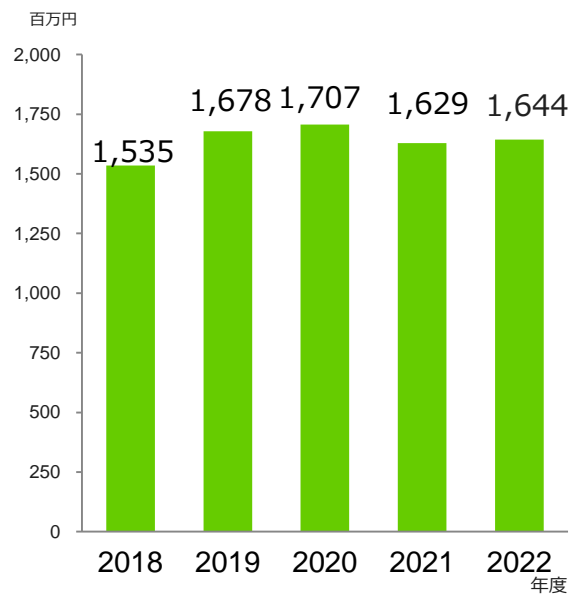


【ご参考】連結5カ年推移

設備投資額



減価償却費



研究開発費

